資料１－５

21世紀金融行動原則

2019年度　最優良取組事例選定のための応募申込書

機関名		
事務連絡等の担当者名 及び連絡先	所属部署・役職	
	氏名	
	住所	〒
	電話番号	
	E-mail	
取組の名称		
取組の開始時期	西暦　　年　月　　日	

取組の背景・目的
取組の概要
取組を実施するにあたっての組織の方針や体制 （※該当する場合に記載。該当しない場合は「特になし」と記載ください）
取組の実績
取組の今後の計画・広がりについて
取組を実施している地域名、取組の対象となる地域名（該当する□を■に変更してください）
□グローバル　□日本全国　□特定の国内地域に限定（地域名など具体的に:　　）　□その他（具体的に:　　）
追加説明資料の添付　（「あり」または「なし」の該当する□を■に変更してください。「あり」の場合はそれが電子データか印刷物か等ご記載ください。）
□　あり（電子データ･印刷物･他）□　なし

<table>
<tr><td colspan="16">応募取組が該当する原則と取組の詳細</td></tr>
<tr><td colspan="16">①　「21世紀金融行動原則」の7つの原則（「別紙」参照）に対して、本取組が該当する原則をマークしてください（※原則番号の左側に〇を挿入。なお、合致する原則がない場合は、「その他」欄をチェック）。</td></tr>
<tr><td>原則1</td><td></td><td>原則2</td><td></td><td>原則3</td><td></td><td>原則4</td><td></td><td>原則5</td><td></td><td>原則6</td><td></td><td>原則7</td><td></td><td>その他</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="16">②　そのうち最も取組が当てはまる原則を3つまで選択して、それぞれの取組の詳細とアピールしたい点を記述してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">最も当てはまる原則番号（3つまで）</td><td colspan="14">選択した原則に照らした取組の詳細な内容とアピール点</td></tr>
<tr><td>1</td><td>原則（　）</td><td colspan="14"></td></tr>
<tr><td>2</td><td>原則（　）</td><td colspan="14"></td></tr>
<tr><td>3</td><td>原則（　）</td><td colspan="14"></td></tr>
</table>

※フォントは、「MS P明朝9ポイント」以上を使用の上、本申込書は全体で2ページ（別紙含まず）に収めてください。
※2ページ以内に収まるよう、記載量に応じて欄の大きさを適宜ご調整ください。ただし、全体の構成に関する変更は不可。
※取組内容を説明する追加資料を添付することができます。（書式自由。電子データまたは郵送で提出。）
（上記及び本注意事項は、提出時は削除可能です。）

（別紙）

21 世紀金融行動原則

【原則 1】　自らが果たすべき責任と役割を認識し、予防的アプローチの視点も踏まえ、それぞれの事業を通じ持続可能な社会の形成に向けた最善の取組みを推進する。

【原則 2】　環境産業に代表される「持続可能な社会の形成に寄与する産業」の発展と競争力の向上に資する金融商品・サービスの開発・提供を通じ、持続可能なグローバル社会の形成に貢献する。

【原則 3】　地域の振興と持続可能性の向上の視点に立ち、中小企業などの環境配慮や市民の環境意識の向上、災害への備えやコミュニティ活動をサポートする。

【原則 4】　持続可能な社会の形成には、多様なステークホルダーが連携することが重要と認識し、かかる取組みに自ら参画するだけでなく主体的な役割を担うよう努める。

【原則 5】　環境関連法規の遵守にとどまらず、省資源・省エネルギー等の環境負荷の軽減に積極的に取り組み、サプライヤーにも働き掛けるように努める。

【原則 6】　社会の持続可能性を高める活動が経営的な課題であると認識するとともに、取組みの情報開示に努める。

【原則 7】　上記の取組みを日常業務において積極的に実践するために、環境や社会の問題に対する自社の役職員の意識向上を図る。

※下線は事務局が引いたものです。実際の原則には記載はありません。
※提出時は、本ページは含めなくても構いません。